

特集1

新人教員の「困った」を考える

【座談会】新人看護教員は何に困っているか／先輩看護教員が語るこれまでの「困った」と乗り越え方：大学教員の立場から（太田雄馬）・専門学校教員の立場から（出崎由華）／新人看護教員支援の展望（合田友美）／『新人看護教員の能力開発支援システムの評価』の開発に向けて（小山田恭子）／新人教員支援の展望（木原俊行）

特集2

看護教員が知っておきたい
今の時代のコミュニケーション

教員として知っておきたい学生の姿（仲嶺真）／特殊なダイバーシティ環境でのコミュニケーションの留意点（澤海崇文）／アフターコロナを見据えた授業の取り組み（新田祥子）／コロナ禍における学生のメンタルの変化（堀田亮）／セルフケアとしてのポジティブ心理学（秋山美紀）

焦点

小玉先生が語るヘンダーソン [後編] 吉田みつ子

巻頭インタビュー

Message from Overseas 海外からのメッセージ

連載

看護教員のつぶやき 第4回

この養成所のここが気になる！ Vol. 5 太田高等看護学院 池西静江／茂木優子

臨床判断能力の育成！

実践的な思考を促す事例づくり試案 第5回 奥 裕美／畠山有希

情報処理・パソコンリテラシーの授業展開

ICTを活用するための基礎的能力育成に向けて 第5回 友滝 愛／[監修] 岡岡祐輝

臨床倫理を映画で学ぼう！ plus 第5回 浅井 篤

訂正とお詫び

小誌63巻2号 焦点 (p.234) にて、参照する表の記載に誤りがありました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

誤：高等学校専攻科2年課程は別表2、…… 正：高等学校専攻科2年課程は別表3-2、……

編集後記

松谷美和子先生が、タナー先生を日本へ招聘されたご縁から、2015年7月号の小誌記事『看護過程と「臨床判断モデル」』ではじめて本誌でこのモデルを紹介し、その後『臨床判断ティーチングメソッド』の発行、また細田泰子先生、根岸まゆみ先生にラサター臨床判断ルーブリックや今回のモデルを翻訳いただけたと感じています。今回の特集が、基礎教育と臨床の共通言語として、花開きつつある様子をお届けできていれば心より嬉しく思います。（番匠）

属人性が高い看護師の思考過程を抽象化・言語化した臨床判断。第5次指定規則改正にこの概念が導入されたのは、臨床はもちろん、看護基礎教育に大いに役立ち得ると認知されたことは想像に難くありません。考えの本質は多様な場面でも活かされ、道筋を立て考えることの大切さを再認識させてくれます。さて、6月中に梅雨が明け、すでに日差しが強烈です。他人に迷惑がかかるわけでもないのに、人目なんて気にせず日傘をさし始めました。酷暑の予感、ご自愛のうえお過ごしください。（坂元）

校正作業を行っている際、入念に読んだつもりの記事を先輩に確認してもらおうと、自分では何回読んだとしても気づけないような、やっかいな誤植を指摘してくださることがあります。私にはない特殊能力をもっているのではないかと感嘆してしまいます。先輩には誤植が「際立って」見えているのでしょうか。私もいつかはその景色を見たいと感じながら誤植を見逃す日々を過ごしております。酷暑が続きますが、ご自愛ください。（野中）

看護教育 第63巻4号（通巻755号）

2022年8月25日発行（年6回発行）

発行：株式会社医学書院

代表者：金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部 TEL：03-3817-5650

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776

メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当：番匠・坂元・野中・近江

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2022, Printed in Japan

印刷：株式会社双文社印刷

1部定価 2,750円（本体2,500円＋税10%）

2022年年間購読料（送料弊社負担、年6冊）

冊子＋電子版／個人：16,500円

（本体15,000円＋税10%）

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の承諾を得てください。

「看護教育」は株式会社医学書院の登録商標です。

BACK NUMBER

バックナンバーのご案内

2022年3号

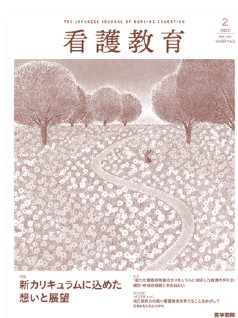
特集 地域とつながる看護教育



第5次指定規則改正では、地域・在宅看護論が新設されるなど、より地域で活躍できる看護師の育成が重視されるようになりました。特集では、特定の科目だけでなく、カリキュラム全体で地域を重視した教育機関や、今後広がる実習先などについて取り上げています。地域とのコラボレーションをさらに深めるためにも、ぜひ他施設のお取り組みをご覧ください。

2022年2号

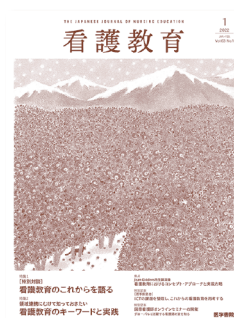
特集 新カリキュラムに込めた想いと展望



専門学校や大学、高等学校などさまざまな教育機関の先生にご登場いただき、地域性や学校の設立趣旨、理念などの特徴をふまえた新カリキュラムの内容に加えて、これからの展望について紹介いただきました。

2022年1号

特集1 [特別対談] 看護教育のこれからを語る 特集2 領域連携にむけて知っておきたい 看護教育のキーワードと実践



特集1では、さまざまな立場で看護基礎教育に携わられている先生方に、これまでの教育や現状を振り返るとともに、今後の展望について対談形式でお話いただきました。／特集2では、各看護学領域を指導されている先生方に、国家試験や教科書の内容などもふまえて、近年の教育内容を紹介いただきました。

2021年12号

特集 教育機関と医療機関の協働による「これからの実習」



神戸大学病院医学部附属病院で開発された模擬電子カルテシステムを用いた複数施設の取り組みを、教育機関・医療機関の両側から解説。コロナ禍の経験を経た「これからの実習」について考えます。

2021年11月

特集 学生・教員を守る ハラスメント対応



ハラスメントは、すべての教育機関にとって「他人事」ではありません。本特集では、心理士、弁護士など、専門家の視座もふまえながら、組織としての目線を大切にしたハラスメント対応についてご紹介いたします。

バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・お電話にて TEL : 03-3817-5650 (医学書院 販売・PR 部)

○ 2020年8号 (Vol. 61 No. 8) 以前の号についてのご注文や在庫の照会
は下記へお問い合わせください。
株式会社東亜ブック TEL : 03-5947-4781 FAX : 03-3923-4539
<http://www.toabook.com>